



# 琥珀石 - みとろ -



## 医療センターからの お知らせ

内科・腎臓内科・循環器内科・神経内科・皮膚科（火曜日のみ）の受診には、医療機関からの紹介状が必要です。

救急の場合は、この限りではありません。直接、救急外来に電話で相談してください。

### —基本理念—

私たちは、すべての患者さまの安全と権利を守り、良質な医療環境のもとに、安心して適切な医療が受けられる病院をめざします。

### —基本方針—

1. 患者さまと職員の安全確保
2. わかりやすい説明の工夫と守秘義務の順守
3. 医療の質の向上、チーム医療の充実、全人的医療人の育成
4. 地域医療の連携強化
5. 自治体病院としての公共性を追及

## 診療科紹介

### 眼 科



眼科は、2019年4月から常勤医師による診療体制となり、白内障手術が可能となりました。

近年超高齢化が進む中、2025年には紀南地方の高齢化率も40%になると言われています。

加齢に伴う眼科疾患として、白内障はもとより緑内障や糖尿病性網膜症、黄斑変性症などの疾患も増加しています。視力低下や視野狭窄は生活の質を低下させるだけでなく、転倒のリスクやうつ病の発症原因にもなります。

また、当センターでは眼科検査機器や白内障手術が行えるシステムを一新し対応しています。

眼科スタッフは、3名の眼科検査員と看護師が患者さんの検査と診療介助にあたります。視力・眼圧・眼軸測定や眼底カメラ、光干渉断層計検査（OCT）、視野検査（ハンフリー・GP）から蛍光眼底検査やレーザー治療など最新の技術を駆使し、より正確な検査を行うことで診療の一助を担っています。

広域にわたる新宮医療圏にお住まいのみなさんの眼科疾患の早期発見・早期治療と生活の質向上を目指し、日々取り組んでいきたいと考えています。

## 職場ウォッチング

### 臨床工学部 地下1階

皆さん、臨床工学技士って知っていますか？ 病院内では、CEやMEと呼ばれています。

近年、医学が進歩するにつれ、多くの医療機器が作られ使用されるようになりました。医療機器を安全に使用できるよう国家資格が必要となり、1987年に臨床工学技士法が制定されました。病院で業務する部署としては比較的新しい部署になります。

当院での主な業務を紹介します。呼吸治療業務では呼吸の機能の代行をする人工呼吸器の使用 midpoint 検査や保守を行い、血液浄化業務では体内にたまった老廃物や排せつ機能の代行をしてくれる人工透析装置の操作を行っています。心血管カテーテル業務ではカテーテルという細い管で心臓を検査する際の記録や装置の操作を行い、ペースメーカー業務では不整脈が起こる患者に対してペースメーカーという体内に植込む機械の管理を行っています。人工心肺業務では心臓手術の際に心臓と肺を代行する機器の操作を行い、医療機器管理業務では医療機器のメンテナンスや管理を行っています。その他、在宅訪問では酸素濃縮器の説明や自宅で人工呼吸器を使用している患者さんに対し、月に1度自宅に訪問し機器の点検を行うなど、幅広い業務があるのが臨床工学技士の特徴の一つです。

今年度は2名の新人が新たに採用されました。安心安全な医療を届けられるように、日々業務に取り組んでいます。



## 「ミニトラック」

人間は空気中の酸素を吸い込み、それが肺で血液に取り入れられ全身の細胞に送られることで生きています。なんらかの病気（肺炎など）で喀痰が多くなると、酸素の通り道が狭くなったり詰まったりすることで呼吸が苦しくなったり最悪の場合窒息することもあります。そういった場合、ほとんどの方は咳をすることによって自力で喀痰を排出しますし、自力で喀痰を排出できない場合でも吸痰といって口や鼻から吸引チューブを挿入して喀痰を取り除くことで改善します。しかし、吸痰にも限界があり喉の奥の方や気管内の痰を吸引するのは難しく、また患者さんにも苦痛が伴います。そんな時に活躍するのがミニトラックです。

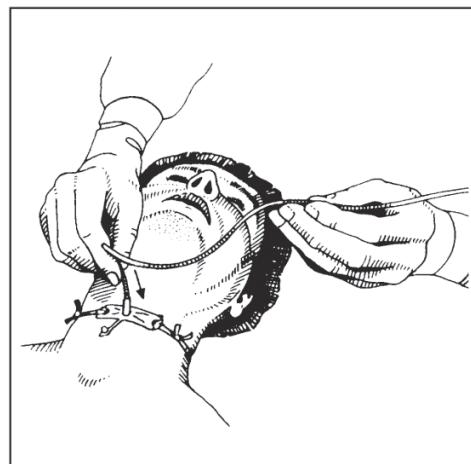
ミニトラックとは喉（正確には輪状甲状膜）の皮膚から気管までチューブを留置する管のことです。そうすることでその管から吸引チューブを入れることができるようになり、直接気管内の喀痰を吸引できます。また、これは気管切開とは違い呼吸は通常通り鼻や口から行うため、食事はもちろん会話も可能です。ミニトラックを留置する手技自体もそれほど難しくはなく数分程度で終わります。

ただ合併症がないわけではなく、ミニトラックを留置する際に出血や感染などを起こすことがあり、

特に気管の後ろ側にある食道を損傷した場合は緊急で手術が必要になることもあります。また、ミニトラックは酸素を送りこむにはあまり適していないため、ほかの病気で呼吸状態が悪くなった時は、挿管や気管切開が必要になることもあります。

肺炎などの病気が落ち着いて喀痰が少なくなれば抜去します。最初は喉に穴が開くことになりませんが数日で自然に閉じます。

ご家族が肺炎などで入院された時にはミニトラックが留置されるかもしれません。辛そうに見えるかもしれませんが、喀痰により窒息を起こさないようにする優れたものなのです。



## 登録医のご紹介

### 井畑医院

新宮市三輪崎 2-3-21  
TEL 0735-31-7029  
井畑 仁志 院長

【診療科目】内科、胃腸科、小児科

地域医療、在宅医療を担っています。

一般診療及び各種健康診断、予防接種、往診加療、産業医活動を行っております。



### 木下医院

那智勝浦町朝日 1-60  
TEL 0735-52-2035  
木下 欣也 院長

【診療科目】内科、外科、胃腸科

地域に密着し、皆様が受けたい医療を安心して受けられる診療所を目指しています。

特色として胃・大腸の内視鏡検査を中心に、癌の早期発見に努めています。

また、在宅医療にも力を入れ、在宅支援診療所として入院病床を19床設置しております。



# 2019年度 4月～6月

# 研修会



## ●地域の医療職・介護職者を対象とした研修

<5月18日(土)「BLS研修」>

今年度も3グループに分かれて実践研修を行い、活気のある研修となりました。



<6月8日(土)「施設・在宅等で行う救急の応急処置について」>

久保救急看護認定看護師が講師を務め、多数のご参加をいただきました。



## ●南紀循環器・腎談話会

<5月30日(木)>

地域の先生方を対象とした循・腎談話会が“循環器疾患(心臓・腎臓)のリハビリテーション”をテーマに開催されました。特別講師として東北大学大学院医学系研究科 内部障害学分野 教授東北大学病院 リハビリテーション部長 上月 正博 先生をお招きしました。

院内外から沢山の方にお集り頂き、リハビリの重要性を再認識する貴重な時間となりました。

## ●地域住民を対象にした一般公開講座

<6月15日(土)「認知症を理解する」>

檜皮谷神経内科部長(地域医療連携室室長)と仲看護師長が認知症の治療・予防・ケアについて分かり易くお話ししました。



## ◆◆◆新任医師の紹介◆◆◆



循環器内科 部長  
いの やすし  
**猪 野 靖**

「最近まで夏の家族旅行は8年連続で勝浦方面でした。大好きなこの地域で頑張りたいと思います。」

## ◆◆◆退任医師の報告◆◆◆

| 氏 名    | 診療科・役職 | 退 任 日     |
|--------|--------|-----------|
| 佐々木 貴英 | 整形外科医長 | 令和元年6月30日 |

## 編●集●後●記

元号が令和になり、はや4カ月が経ちました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？私事です、我が家は9歳と10歳の2頭の犬を飼っています。数年前までは元気に走り回り、散歩でもリードを強く引っ張り私もヘトヘトになっていましたが、ここ最近私の足元をトコトコと歩くことが多くなりました。

犬は人間の4倍の早さで年を取ると言われています。犬も加齢と共に体力の低下がみられますが、私はできる限り散歩を続け外の景色を見せてあげたいと思います。

未だに残暑が続いております。夏バテなどされませんようくれぐれもお体を大切になさってください。

P・Sカラクリドケイ